

# 令和5年度 ちぐさこども園 学校関係者評価委員会報告

日時： 令和5年6月13日(木) 17:00～17:30

場所： ちぐさこども園保育室

出席者： 渋谷典子(法人役員)、靱山英一(同)、飯島千明(同)、星川嘉一郎(元市議)、小熊あみ子(元小学校校長)、狩野雅道(会社経営)、春日洋紀(保護者父母)、山田龍之介(保護者祖父母) ※順不同、敬称略

## 1. 本園の教育・保育目標

「意欲」・・・ 面白いことや楽しいことを十分にする体験を通して、「～したい」につながるエネルギーを心身ともに培う

「感性」・・・ 様々な体験を通して、感じる心・表現する喜びを味わい、同時に知的な感覚を磨く

「思いやり」・・・ 他者と共にする生活や遊びを通して、友だちと過ごす楽しさや難しさを味わいながら、他者を慮る心や態度を培う。

## 2. 本年度自己評価と学校関係者評価 本年度スローガン『面白く、誠実に』

項目		自己評価	学校関係者評価(意見)
本年度 重点	① 面白い保育 の実践	B+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内環境の充実、時間的・空間的環境の配慮等により、より子どもの主体性が発揮された。</li> <li>・保育課程の見直し(子どもの発達の連続性への意識)は不十分。</li> </ul>
	② 保護者支援 の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜保育体制の見直し(時間延長、正職員の配置)</li> <li>・希望保育期間の短縮</li> </ul>
総合		B+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの毎日の「行きたい」に、園の努力が現れている。</li> <li>・1人1人の子どもの興味から、大勢の活動に発展させていく環境づくりが素晴らしい。</li> <li>・クラスや年齢を問わず遊んでいる様子が見られ、園全体で交流できる環境が整っている。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜保育ありがたい。助かっている。</li> <li>・駐車場が良くなって利便性が向上した。</li> <li>・先生が一人ひとりをよく気にかけていて、何かあった際はすぐ連絡があり、その後のフォローもあるので安心して子どもを預けることが出来る。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の継続的な取り組みにより、「面白い」実践が多数起きている。</li> <li>・コロナの影響もあり、園内の取り組みに比べて、園外との関わりが不十分。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価を継続的、全体的にやっていく難しさがよくわかり、その分本取り組みには意義がある。</li> <li>・学童との連携は特徴であり、よく考えて欲しい。(安全面も含めて)</li> <li>・置き去り事件等が頻発する中、安全面には細心の注意を払うべき。</li> </ul>